

修士論文構想

論題

昨今、教育現場でも ICT が普及し、デジタル教材やタブレット活用が推進されている。筆者は目的用途を明確し、科目、学習環境に適した活用が重要であると考え、本論文では、中国の大学の大人数会話クラスでの BYOD を用いた授業について考察する。

論文構成

・教授法と教材

(昔は暗記型の教授法、今はコミュニケーション能力を重視した教授法。つまり、今日の授業で教材に求められる役割もコミュニケーション能力の育成である。タブレットの活用例やデジタルアーカイブを活用したキュレーション授業の紹介)

・会話授業で教える項目

(語彙、発音、文法、定型表現、談話構成など)

・映像教材

(会話授業で映像教材が用いられる理由。市販の教材、アニメドラマを用いた授業の紹介)

・中国の大学の学習環境

(クラス規模、教室設備、会話の授業で教えること、そして問題点)

・解決案

(学生自身のスマホを活用 BYOD→協働学習の促進、個別最適化)

(BYOD に適した映像教材の活用。アニメやドラマは不適當、市販の教材は限られている→岩本の論文を参考に間違い探しビデオ教材の作成)

・実験

(文法の使用間違いを含んだ日常会話のビデオを作成し、学生自身のスマホで見ながら、文法の間違いを探す。)

・考察

(授業後にアンケート調査を実施。考察する)

研究の目的

BYOD を用いる場合、どのような映像教材が適しているのか。

大人数会話クラスにおいて BYOD を用いることで授業に対する理解度、学生の満足度を高めることが可能かどうか。

方法

筆者が勤務する大学で実践し、学生にアンケート調査を行い、考察する。

主要参考文献

- ・無菌操作演習における間違い探しビデオ教材の有効性の検討 岩本真紀

- ・大学授業を活性化する方法
- ・会話教材を作る